

ふうしゅてんけい

風趣点景

管内四季だより⑳



「見守る大樹」

遠野市附馬牛町(荒川駒形神社)

写真・文/高沢 翔(西和賀町沢内)

西和賀町をメインに風景写真を撮っている写真家。

ホームページ「高沢翔写真館」<http://shou.eek.jp>

撮影データ(デジタルカメラ) 2016年12月上旬
ISO感度: 400 絞り: f22 露出補正: -1.0

遠野市附馬牛町荒川の荒川駒形神社。馬産の神を祭ったことに由来する神社で「遠野遺産第56号」に指定されています。当日の午後、目指す神社に着き三脚にカメラを装着し撮影しようとした時、急に雪が降り吹雪になりました。冬の雰囲気が欲しかっただけにこの神懸かり的な現象に感謝しつつ撮影しました。入口に立つ大樹が、奥に鎮座する社を見守るようにどっしりと根を張っているのが鮮烈でした。

今年も残り一カ月を切つてしまつた。今年やり残したことはないか、まだできることはないか探しています。広報に携わつて10カ月。自分のできることは、まだできないこと、色々見えてきました。駄目な部分は煩惱と一緒に今年に捨てて新しい年を迎えたいです。皆様もよいお年をお迎えください! 「小原」

気が付けば、残すカレンダーがあと一枚となつた。あれまあれまと過ぎ行く日々。12月となつた今、もう一度「やりたい事・やるべき事」を見つめ直す。そして、目標と期日を再設定だ。何かと忙しくなる師走だからこそ、一日一日を大切に楽しく。1回しか訪れない。平成29年に悔いを残さないように! 「佐藤」

喜びと感動を感じる度に米粒を貯めていく「お米貯金」。昨晩、瓶いっぱい貯まつた米を炊いた。噛みしめる度に、沢山の人に支えられて生きていく事、ここで働ける喜びを実感する。一粒一粒が私の血となり力くれた。30歳を超えた今、もらつてばかりの人生は終わりにしよう。一粒を倍の力に変えて返していく。新たな年に向かって。 「大内」



編集後記

From Editor's